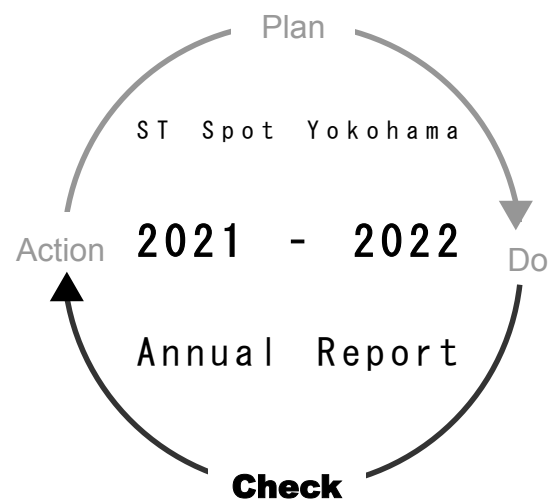




特定非営利活動法人STスポット横浜

令和3年度 事業報告書

令和4年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的として活動を行っています。

2021 年度もコロナ禍で制限のある中での活動が続きました。小劇場・S T スポットにおいては、利用団体のキャンセルなどもありながらも感染症対策を万全にし、開館を続けました。地域連携事業部では、可能な限り対面での活動を探りながらも臨機応変に事業を進めていきました。少しずつ、新しい出会いや可能性を見出しながら、活動を続けてきました。

厳しい状況は続きますが、引き続き今後とも、みなさま方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

理事長 小川智紀

目 次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	4
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	6
1. 教育事業	6
2. 地域事業	9
3. 福祉事業	12
事務局	16
2021（令和3）年度財務諸表	17

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

1. S T スポットの施設運営

前年度と比較すると利用状況は少しずつ回復してきたものの、数件のキャンセルもあり、まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響は続きますが、感染症対策を講じながら利用者の安全と使いやすさを重視した施設管理運営と舞台芸術の創造拠点として、若手アーティストを中心としたサポートを行う自主公演事業等を行いました。

【表1：S T スポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	320 日※	203 日※	
稼働日	231 日	128 日	
稼働率	72.2%	63.1%	稼働日÷開館日
プログラム数	41 本	34 本	
利用団体数	19 団体	19 団体	

※スタッフが劇場にて対応していた日数。在宅勤務にて対応していた日数を除く。

【表2：S T スポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
S T スポット総入場者数	3,193 人※	2,963 人※	
利用団体観客数	1,771 人※	1,316 人※	
利用団体スタッフ数	1,011 人	267 人	
事業観客数	149 人※	1055 人※	
事業スタッフ数	262 人	325 人	

※配信視聴数含む。

【表3：S T スポット月別開館状況】

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開館日※	22	26	27	29	26	28	25	29	28	25	25	30	320
稼働日	7	14	12	15	19	24	23	29	28	18	18	24	231
稼働率	31.8%	53.8%	44.4%	51.7%	73.1%	85.7%	92.0%	100%	100%	72%	72%	80%	72.2%
一般利用	3	5	2	4	3	2	2	3	4	0	1	4	33
自主事業他	1	0	1	0	0	2	1	2	0	0	0	1	8
プログラム数	4	5	3	4	3	4	3	5	4	0	1	5	41

参考：神奈川県に緊急事態宣言が発令されていた期間は以下の通り。

2021 年 8 月 2 日～9 月 30 日（※8 月 19 日～9 月 30 日の期間は新規貸出停止／10 月 7 日より受付再開）

【表4：S T スポット稼働日内訳（種目別）】

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一般利用	3	12	2	10	8	9	9	11	24	2	2	15	107
自主事業他	4	2	10	5	11	15	14	18	4	16	16	9	124
稼働日	7	14	12	15	19	24	23	29	28	18	18	24	231

【表5：STスポット稼働日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	0	3	0	7	5	9	7	6	24	2	1	13	77
ダンス	0	5	1	0	0	2	2	5	0	0	16	5	36
音楽	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
稽古	4	2	9	6	11	9	12	16	4	16	0	8	97
撮影	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
講座・WS	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
その他	3	0	2	0	2	0	1	2	0	0	1	0	11
稼働日	7	14	12	15	19	24	23	29	28	18	18	24	231

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
くろひげ	TACChi プロジェクト『プチタッチのおためしまつり』	2021年5月2日（日）～5月4日（火・祝）
山縣太一	山縣太一演劇ワークショップ	2021年5月10日（月）、5月17日（月）、5月24日（月）、5月31日（月）
Eine Feige	dear others-solo version-	2021年5月26日（水）～5月30日（日）
水中めがね∞	『しき』※稽古利用	2021年7月6日（火）
劇団ペリどっと	『愛で時空を超えたら戻れなくなっちゃった。てへ☆』	2021年7月16日（金）～7月18日（日）
Y³	『うつら うつら』	2021年7月22日（木）～7月25日（日）
オフィスマウンテン	みなと戯曲倶楽部 vol.1 『TRIP』	2021年7月30日（金）～7月31日（土）
劇団「無題」	第26回本公演『ムジャムジャー！』	2021年8月20日（金）～8月22日（日）
ふる一つぼんち軍団	『メンヘラ・エチュード』『ミュータンス・ミュータント』	2021年8月27日（金）・8月30日（月）
オフィスマウンテン	アッシュマンズ『タバコバのわかれ』	2021年9月1日（水）～9月5日（日）
melomys	『present』	2021年9月23日（木・祝）～9月26日（日）
株式会社 for ロジ	※撮影利用	2021年10月6日（水）
円盤に乗る派	『ウォーターフォールを追いかけて』	2021年10月25日（月）～10月31日（日）
劇団つかのま	『はなげ』	2021年11月6日（土）、11月18日（木）～11月21日（日）
譜面絵画	『Terra Australis Incognita』⑤ 横浜 ver.	2021年11月29日（月）～12月5日（日）
情熱のフラミンゴ	『ちょっとまって』	2021年12月7日（火）～12月12日（日）
オフィスマウンテン	『体操させ、られ。してやられ』	2021年10月19日（火）、11月7日（日）、11月14日（日）、12月14日（火）～12月20日（月）
人形劇団ひとみ座	『おいしいのぼうけん』	2021年12月23日（木）～28日（火）、2022年1月4日（火）1月5日（水）
劇団世人	『エルネスト・オシュデはパリに逃げた』	2022年2月12日（土）、3月7日（月）～3月13日（日）
マリアッチ	『この愛しきうわずみ太郎』※稽古利用	2022年3月23日（水）
北海道芸術高等学校	『ヨゴト』	2022年3月25日（金）～3月27日（日）

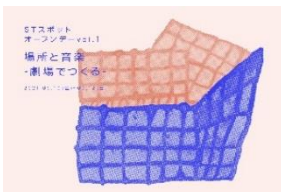
※利用期間には稽古利用、仕込み利用日含む

2. 自主事業

自主事業は、過年度から継続実施のパフォーマンス企画『PLAY NEW MAP CITY』をよりブラッシュアップして行い、新企画として『ST スポットオープンデーvol.1 場所と音楽-劇場でつくる-』を開催しました。感染症対策の観点からどちらも入場者数をかなり制限した上での実施となりましたが、コロナ禍でより希薄になっていた身体を通したコミュニケーションの場としてプログラムを行いました。共催事業として昨年度主催事業「ラボ 20#22」にてアワードを受賞した涌田悠の新作ソロダンス公演のサポートいたしました。

感染症拡大の状況に臨機応変に対応しながら、舞台芸術の創造拠点としてさまざまなアーティストとの協働や利用者のサポートを継続して行い、表現の一傾向に偏らず、多様な思考と身体の内り方を実践していく場として、地域の文化施設の役割を務めることができました。

1. 主催事業



ST スポットオープンデーvol.1 『場所と音楽-劇場でつくる-』

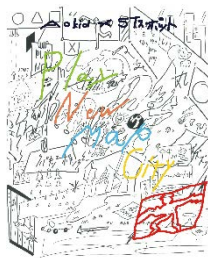
公演 2021年9月10日(金)～9月12日(日)

ディレクター 西井夕紀子

出演 北川結 紫雲会横浜病院のみなさん 東郷清丸 THE PUSH 牧野容也

全8回 動員 22人

「劇場をひらく」をテーマにした試みで、観客・アーティストが入り混じりながらアイデアを出し合い、一から歌詞やメロディ、振付をつくっていく参加型のプログラムとなりました。作曲家の西井夕紀子さんをディレクターに、さまざまなアーティストをゲストに迎えました。



『Play New Map City』

公演 2021年10月16日(土)・11月3日(水・祝)

出演 Aokid ゲスト出演 米澤一平 [10月16日]、小暮香帆 [11月3日]

全4回 動員 42名(配信視聴含む)

過年度に行ってきた内容をさらにブラッシュアップし、対象を子ども・親子にも広げ、普段は小劇場へ足を運びづらい層を取り込み、劇場空間や機構を存分に活かしながら、ドローイングやダンスを体験する・鑑賞するプログラムを行いました。

2. 共催・提携・協力事業



(1) Dance Pause

協力 2021年6月4日(金)全1回 動員11人

(2) 涌田悠ソロダンス WIP#1

協力 2021年9月29日(水)全1回 動員6人



(3) 涌田悠ソロダンス WIP#2

協力 2021年11月27日(土)・11月28日(日)全2回 動員18人

(4) 涌田悠ソロダンス『涌田悠第四歌集 川風の星』

共催 2022年3月18日(金)～3月20日(日) 全3回 動員50人

【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
ST スポットオープンデーvol.1 『場所と音楽一劇場でつくる ー』	2021年9月10日(金)～9月12日 (日)	500	7	22	24	0
PLAY NEW MAP CITY	2021年10月16日(土)・11月3日 (水・祝)	2,000	4	42	34	12

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
涌田悠ソロダンス『涌田悠第四歌集 川 風の星』	2022年3月18日(金)～3月20 日(日)	3,000	3	50	114	59

【表9：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
Dance Pause	2021年6月4日(金)	2,000	1	11	4	0
涌田悠ソロダンス WIP#1	2021年9月29日(水)	1,000	1	6	2	3
涌田悠ソロダンス WIP#2	2021年11月27日(土)・11月 28日(日)	1,000	1	18	4	6

教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

1. 教育事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

学校現場に対する直接的な取組みとしては、一部、令和3年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」を活用しながら、横浜市の事業と連動して、小学校・特別支援学校3校にてコーディネートを行いました。そのほか、今年度は不登校状態にある児童生徒の支援機関における取組の調査研究として、4か所のハートフルルームにて支援員に対するヒアリングを行いました。



1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

令和3年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験をできるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて令和4年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・義務教育・特別支援学校に広報を行いました。

また令和3年度は、横浜市のダンスフェスティバル Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 と連動し「体験型スペシャル版」として実施回数を拡充した取組（9校）の運営も行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

（1） 教師のためのワークショップ（美術①）

日時：2021年7月28日、14:00～16:00

開催方法：Zoomによるオンライン開催（PLOT48より配信）

図画工作科美術科研修として、横浜市内の小・中・特別支援学校の主に図画工作科、美術科の教員21人が参加。横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトのコーディネートにより、「コミュニケーションを通じて展示を考えてみよう！」と題し、身の回りの物を用いてグループで協力して一つの展示を考えてみる研修を行いました。

（2） 教師のためのワークショップ（美術②）

日時：2021年12月11日、13:30～16:00

開催方法：Zoomによるオンライン開催（PLOT48より配信）

美術科の授業づくり講座として実施。横浜市の教員のほか一般にも公開し、全国の学校教育や美術館・博物館教育に携わる方など48人が参加。横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトのコーディネートにより、2016～19年度にかけて横浜美術館が実施してきた「横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」について、授業案づくりに携わった先生方と美術館職員で、事業の特徴や意義、成果、課題などをお互いに振り返りながら共有しました。

（３）教師のためのワークショップ（ダンス）

日時：2021年10月6日、15：30～16：45

開催方法：Zoomによるオンライン開催（戸塚小学校より配信）

横浜市特別支援教育研究会・C部会研修会として実施。横浜市立小学校の個別支援学級の教員53人が参加。横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラムのなかでも個別支援学級での取組を紹介したあと、STスポット横浜によるコーディネートで実施した、緑園西小・緑園東小の担当アーティストである長井江里奈さん（ダンサー・演出家・ワークショップファシリテーター）によるワークショップを体験し、教員自身も楽しく身体を動かして、障害のある子どもたちへの身体でのアプローチを考える機会となりました。

（３）文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2021年7月8日、10：00～11：30

会場：吉野町市民プラザ・ホール

学校でのプログラムを担当するコーディネーターが集まり、情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施。総勢24人が集まり、教育委員会担当者より新学習指導要領について、その改訂のポイントを解説したり、コロナ禍における学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、ディスカッションを行いました。

2. 学校プログラムの実施

一部、令和3年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」を活用しながら、横浜市の取組と連動させ、浅間台小学校、緑園東小学校・緑園西小学校（合同実施）、上菅田特別支援学校の3校にてコーディネートを行いました。

3. 調査研究

令和3年度は、不登校状態にある児童生徒の支援機関における取組の調査研究として、横浜教育支援センター（横浜市教育委員会に設置）と連携し、横浜市内4か所のハートフルルームにて支援員に対するヒアリングを行い、その結果をとりまとめました。

【表10：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度
小学校	119 校	113 校
中学校	10 校	7 校
義務教育学校	0 校	1 校
特別支援学校	10 校	5 校
合計（校数）	139 校	126 校
合計（人数）	12,823 人	10,714 人

【表11：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	17 校	26 校	43 校
美術	21 校	1 校	22 校
演劇	6 校	0 校	6 校
ダンス	20 校	2 校	22 校
伝統芸能	23 校	23 校	46 校
合計	87 校	52 校	139 校

【表12：コーディネーター一覧】

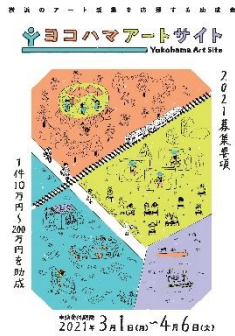
アートNPOなど、民間の芸術団体（26 団体）		地域の文化施設（10 団体）
青葉区民文化センター フィリアホール		Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ		NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス		NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール		NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷		ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート		民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール		アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ		NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク		認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場		NPO法人横浜シテオペラ
大倉山記念館	急な坂スタジオ	
久良岐能舞台	象の鼻テラス	
長浜ホール	吉野町市民プラザ	
岩間市民プラザ	横浜市民ギャラリー	事務局構成団体（2 団体）
横浜市民ギャラリーあざみ野	横浜美術館	公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ
横浜にぎわい座	横浜赤レンガ倉庫 1 号館	認定NPO法人STスポット横浜
横浜みなとみらいホール	横浜能楽堂	
関内ホール	大佛次郎記念館	

【表13：直接コーディネートを行った学校一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
浅間台小学校	5 年生、個別支援学級	伝統芸能	荒井靖水（薩摩琵琶奏者）、渡邊勝代（箏奏者）	2022 年 1 月 12、13、14 日	3	65
緑園東小学校、緑園西小学校	個別支援学級	ダンス	長井江里奈（ダンサー・演出家・ワークショップファシリテーター）	2021 年 10 月 19、29 日、11 月 22、24 日、12 月 8、22 日	6	29
上菅田特別支援学校	高 1～3 年生	美術	井上尚子（美術作家）、松山薫（野毛山動物園 飼育展示係）、南俊輔（映像作家）	2022 年 1 月 20、25、27 日	3	13

2. 地域事業

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。



・地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 61 件中 29 件を採択）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：16,500,000 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を4回開催し、動画やテキストにてウェブサイト上に公開しました。また助成事業の報告会を企画しました。（新型コロナウイルスの影響により、報告会はオンライン開催）

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。4冊（3カ月に1回刊行し、地域文化のサポートを目指しました。

【表14：ヨコハマアートサイト 2021 助成対象事業一覧】

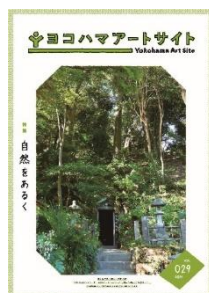
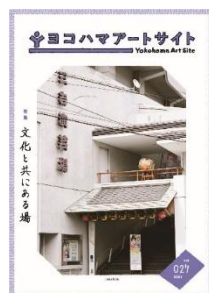
団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社まるごとギャラリー2021	金沢区
OUTBACK アクターズスクール	OUTBACK アクターズスクール	磯子区、神奈川区、中区
認定 NPO 法人あっちこっち	～芸術による地域の居場所づくりの事業～おとなとこどものための芸術教室	中区
磯子区障害者地域活動ホーム	あいさつシリーズ Vol.3 浜マーケットからこんにちば	磯子区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープン DAY—つどおう・かたろう・つながろう	中区
WeTT 実行委員会	weTrees Tsurumi・「Connecting dots in Tsurumi」プロジェクト	鶴見区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぶろむなあと 2021」	南区
音楽スペース おとむすび	ワークショップ『横浜の里山を歌う』	泉区
紙芝居文化推進協議会	第 21 回手づくり紙芝居コンクール	西区
黄金町 BASE	黄金町 BASE	中区
ことぶき「てがみ」プロジェクト実行委員会	ことぶき「てがみ」プロジェクト	中区
さかえ egao プロジェクト	egao フェスティバル vol.9	栄区
シーホース工房	森の夜明け&再生プロジェクト	緑区
しましまのおんがくたい	「とびだせ！しましまのおんがくたい」～外出の難しい子どもたちへ、生の音楽を届けたい！	青葉区
STAND Still	性暴力サバイバービジュアルボイス	中区、青葉区
蒼昊美術會	2021 広げよう！深めよう！！水彩でアートの輪！！	中区、西区
NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く打楽器作っちゃおう	中区、南区、戸塚区、港北区、泉区
都筑アートプロジェクト	土地の記憶と未来へのまなざし（仮）	緑区
ティーンズクリエイション組織委員会	ティーンズクリエイション展 2021 「Wakamono Arts Festival」	栄区
野毛山 kiez	野毛山 kiez	西区
Picture This Japan	Picture This 2021：横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	中区、栄区、南区
特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜	未来に繋ごう、皆んなの！！横浜の！！歴史・文化・芸術！！～画家の気持ち～	保土ケ谷区
病院と地域の協働によるおまつり実行委員会	病院と地域とアートでつくるおまつり	神奈川区
「街のはなし」実行委員会	「街のはなし」	青葉区
横浜キネマ倶楽部	ロケ地で追悼上映会 スクリーンに甦る映画スターと横浜の名所を回顧する『夢は夜ひらく』in 神奈川県立音楽堂（西区）&『我が人生最悪の時』in 横浜市南公会堂（南区）	西区、南区
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2021+よこはま若葉町多文化映画祭 2021	中区、南区、西区
横浜シネマネットワーク実行委員会	全国ミニシアター地域交流上映会 横浜×関西	中区
一般社団法人横浜若葉町計画	まちなかギャラリー2021	中区
LITTLE ARTISTS LEAGUE	多文化共生に取り組むアートプログラム 2021	西区

【表15：ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

回	企画名	テーマ	開催・収録日	主な出演者（敬称略）	収録会場
30	子どもの日常とアート	子どもの文化的な体験や学びについて	2021年9月13日	大木智子（親と子のつどいの広場 しゅーくるむ代表・NPO 法人親がめ）、成澤朱未（蒼昊美術会 代表）	オンライン（zoom）
31	寿町からみる人と社会	居場所のあり方、アートから繋がるケア	2021年10月22日	花崎攝（シアタープラクティショナー、ことぶき「てがみ」プロジェクト実行委員会）、横山千晶（慶應義塾大学教授、居場所「カドバヤで過ごす火曜日」運営委員会 代表）	日吉カフェ
32	地域の文化芸術を支えるために ※YPAMとの協働	アーツカウンシルや支援のあり方について	2021年10月29日	鈴木一郎太（アーツカウンシルしずおか プログラム・ディレクター）、北野央（公益財団法人仙台市民文化事業団 総務課）	オンライン（zoom）
33	小さな声をかたちに する～つたえる、つなげるために	表現を伝えること、つなげることについて	2022年3月19日	リーナ（STAND Still メンバー）、マリア（STAND Still メンバー）、中村泰子（『くらしと教育をつなぐ「We」』編集長・スペースナナ運営メンバー）	スペースナナ
報告会	ヨコハマアートサイト 2021 報告会	ヨコハマアートサイト 2021 参加事業の報告	2022年3月6日	ヨコハマアートサイト 2021 参加団体	オンライン（zoom）

【表16：季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
27	文化と共にある場	2021年7月	三吉演芸場（南区）、そごう美術館（西区）、Live & Bar Restaurant「THUMBS UP」（西区）、ヨコハマアートサイト 2020 報告会（オンライン）、地域文化の風景（原美紀）、LITTLE ARTISTS LEAGUE「やさしさの花」（西区）、横浜ユラシア文化館「横浜中華街・160年の軌跡 この街が、ふるさとだから。」（中区）、いずみ紙芝居一座「第54回定期口演会・春」（泉区）、GROUP 創造と森の声「春の森の美術展」（緑区）
28	いろんなイロとカタチにふれて	2021年9月	神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ（神奈川区）、蒼昊美術会（中区）、黄金町BASE（中区）、ヨコハマアートサイト 2021 について、地域文化の風景（北野央）、LITTLE ARTISTS LEAGUE の「みる、つくる、きづく・リトルアーティスト展」（中区）、Picture This Japan ミニ展示（南区）、若葉町ウォーフ・まちなかギャラリー2021・キム・ガウン「ダンサーの時間」（中区）、横浜キネマ倶楽部「夢は夜ひらく」（西区）
29	自然をあるく	2021年12月	さかえ egao プロジェクト（栄区）、GROUP 創造と森の声（緑区）、NPO 法人 舞岡・やとひと未来（戸塚区）、子どもの日常とアート（オンライン）、地域文化の風景（長尾 聡子）、横浜シネマネットワーク実行委員会／「男はつらいよ」シリーズ 映画・浪曲 2 本立て（中区）、美術保存修復センター横浜／未来に繋ごう、皆んなの!! 横浜の!! 歴史・文化・芸術!! ～画家の気持ち～（中区）、音楽スペースおとむすび／横浜の里山を歌う（戸塚区）、横浜下町パラダイスマつり実行委員会／ハッピーティハール～ネパールのお祭りを祝う会（中区）
30	自分に出会う	2022年3月	OUTBACK アクターズスクール（神奈川区）、Picture This Japan（中区）、スペースナナ（青葉区）、ヨコハマアートサイトラウンジ vol.31（港北区）、地域文化の風景（市川 徹）、シーホース工房／禅林のシンフォニー（緑区）、野毛山 kiez／まちを「知覚」する（西区）、しましまのおんがくたい／しましまのおんがくたい with あおば支援学校コンサート（青葉区）



3. 福祉事業

神奈川県と協働し、障がい者芸術文化活動普及支援事業として「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」を運営しました。



1. 相談支援事業

障害者やその家族、障害福祉サービス事業者等から芸術文化活動に関する相談を、メール、電話、面会などで133件受け付けました。またウェブサイトやリーフレットを作成し、支援センターおよび相談窓口の周知を行いました。発表や交流の場を求める声や福祉施設での取り組みについての相談が寄せられ、芸術文化への興味関心の高さを感じました。また、実際に発表につながったなど、対応時に提供した情報から具体的な活動に結びついたという相談者からの報告もありました。

2. 芸術文化活動を支援する人材育成事業

(1) 障がい者の文化芸術を支援するコーディネーターの養成

「日々をつくる、くらしが広がる」をテーマに、主に障害福祉関係者を対象とした勉強会を2回開催、年度末には勉強会参加者が感想を共有する機会も兼ねてオンライン交流会・相談会を行い、のべ121人が参加しました。また、勉強会に参加した福祉施設から依頼を受け、職員研修として勉強会の内容について意見交換する機会に、ファシリテーターとして参加しました。

生活介護などの日中活動サービスを提供する障害福祉サービス事業所における課題や現状に関する研究結果や、重症心身障害者とのアート活動の実践事例など、福祉施設の現場の視点から芸術文化の役割や障害福祉との接点を見つめ直す機会となりました。

(2) ワークショップ実施事業

神奈川県内の障害福祉サービス事業所等に5か所に対してのべ14回アーティストを派遣し、施設の希望に応じてダンスや音楽、美術の芸術文化体験活動を実施しました。今年度は実施を希望する施設を公募で募り、21件あった応募の中から、2施設を選出して実施しました。これまで接点を持っていなかった放課後等デイサービスから多くの応募があり、新たなニーズ把握にもつながりました。

実施形態としては、感染症拡大の状況により一部オンラインとなりましたが、ほぼすべての実施を対面で行うことができました。各実施施設とは、地域とのつながりや施設内の活動への活用など、実施後の展開についても相談しながら内容を検討しました。実施施設の利用者だけでなく、併設の認定こども園の子どもたちや、近隣の他事業所を利用する障害者が参加者に加わることもあり、多様な交流が生まれる機会にもなりました。

3. 関係者のネットワークづくり

(1) 協力委員会

障害者の芸術文化活動に造詣の深い専門家による協力委員会を設置し、2回開催しました。

会議は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、2回目はオンラインで行いました。

(2) 文化施設職員とのオンライン座談会

県内の美術館やホールなど公立文化施設に呼びかけ、情報交換などを行う座談会を全2回オンラインで実施しました。各回ではゲストによる先行事例の紹介を行い、障害者を含むさまざまな人が訪れる場所としての文化施設の役割や、日ごろの工夫、悩み事などを参加者間で共有しました。

4. 事業の成果の発表

(1) 成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」

今年度の支援センターの活動報告をオンラインによる動画配信で行いました。基調講演として、地域福祉の中間支援組織として横浜市を中心に活動する特別非営利活動法人よこはま地域福祉研究センターの佐塚玲子氏を招き、地域福祉の観点から障害者にとっての芸術文化の役割について、考えを深めました。また、今年度のワークショップ実施事業の実施施設のうち、公募から実施につながった2施設の事例を紹介しました。実施施設の職員とアーティストをゲストに招き、改めて取組みで感じたことや、障害者と芸術活動を行う意義、今後の展望などを共有しました。

5. 情報収集・発信、成果報告とりまとめ

ウェブサイトを作成し、センター主催の催し等の発信を行い、周知につとめました。また、「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて10回配信しました。

年度末には報告書を3,500部作成し、県内の障害福祉サービス事業所等に配布、ウェブサイトにも掲出しました。

■メディア掲載・シンポジウム等への登壇

<メディア掲載>

- ・神奈川県社会福祉協議会 機関紙 福祉タイムズ 2021年12月号
- ・かながわ県のたより 令和4年1月号 No.802「ともいきバトン」
- ・特定非営利活動法人けやきの会 広報誌 Vol.15 2022年冬号
- ・ぱれっと・はだの 広報誌第6号 2022年1月
- ・NPO 法人障害児・者・家族サポート事業所 スプラウトスタッフブログ 2022年1月18日

<執筆>

・「地域からアートとの出会いを立ち上げる」2021,公益社団法人 日本発達障害連盟・編『発達障害白書 2022年版』第6章 社会参加,明石書店

<シンポジウム等への登壇>

・「つながる！ひろがる！パラアート・ミーティング」(主催：公益財団法人 川崎市文化財団/2022年3月10日)

【表17：相談事業】

■相談方法

	面会	電話	メール	オンライン	問い合わせ フォーム	その他	合計
相談件数	16件	59件	42件	3件	12件	1件	133件

■居住地別

	横浜	川崎	相模原	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	県外	不明	合計
相談件数	48件	19件	16件	13件	3件	5件	3件	3件	12件	11件	133件

■相談内容

	鑑賞につ いて	創造につ いて	発表につ いて	交流・連携 について	調査研究・保 存について	権利保護 について	人材育成 について	情報発信 について	その他	合計
相談件数	2件	27件	35件	32件	6件	3件	11件	10件	7件	133件

【表18：ワークショップ実施事業一覧】

施設名	施種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	人数
1 ぱれっと・はだの	地域活動支援センター	精神	ダンス	岡田智代(ダンサー)	2021年10月30日、11月20日、12月18日	3	19
2 第3けやき	地域活動支援センター	精神	美術	ドウイ(造形ユニット)	2021年11月9日、11月30日、12月14日	3	19
3 スプラウト	障害福祉サービス事業所	身体、知的	音楽	尾引浩志(音楽家)	2022年1月11日	1	13
4 のびやか	障害福祉サービス事業所	知的	音楽	西井夕紀子(作曲家)	2021年11月5日、12月28日、2022年1月15日	3	36
5 リエゾン笠間 ★一部オンライン	障害者支援施設	身体、知的	音楽	額田大志(作曲家)	2021年12月15日、21日、2022年3月31日	3	54

【表19：勉強会、報告会】

企画名	配信期間	主な出演者（敬称略）	テーマ	人数	収録会場
1 福祉施設における日中活動の今とこれから	2022年1月7～17日	岡田 裕樹(独) 国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 研究部研究員)	福祉施設の日中活動における現状と課題から、芸術文化の役割を考える	53	障害者スポーツ文化センターラポール上大岡
2 重度障がいのある人との表現の場づくり	2022年2月25日～3月7日	野呂田 理恵子(女子美術大学 准教授)	重度心身障害者との表現活動の実践から、芸術文化をととした関係性の広がり可能性を考える	63	障害者スポーツ文化センターラポール上大岡
3 オンライン交流会・相談会	2022年3月11日	—	勉強会参加者を対象に、参加してみたい感想や、日頃悩んでいることなどを参加者同士で共有する	5	オンライン (zoom)
4 成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」 (1) 芸術家とともに過ごす時間 (2) 地域福祉から考える障がいと芸術文化	2022年3月11日(金)～3月31日(木)	(1) 川嶋恵子(地域活動支援センター ぱれっと・はだの)、岡田智代(ダンサー・振付家) 山田龍(地域活動支援センター 第3けやき)、ドウイ(造形ユニット) (2) 佐塚玲子(特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター センター長)	今年度の事業報告をするとともに、ワークショップ実施事業のうち2事例の紹介と、地域福祉の視点から障害者の芸術文化活動の役割と期待をお話しいただいた	31	(1) オンライン (zoom) (2) 障害者スポーツ文化センターラポール上大岡

【表20：文化施設職員とのオンライン座談会】

企画名	配信期間	主な出演者（敬称略）	テーマ	人数	会場
1 美術館での障がい児・者に向けた取り組み	2021 年 10 月 8 日	立浪佐和子(横須賀美術館 学芸員)	美術館での障害児や地域の福祉施設との連携事例について話をうかがうとともに、参加者の日頃の悩みを共有する	4	オンライン (zoom)
2 ホールでの社会福祉協議会と協働した取り組み	2021 年 12 月 10 日	北村綾子(南足柄市文化会館 事業担当)	ホールでのさまざまな状況の地域住民に向けた取り組みの工夫について話をうかがうとともに、参加者の日頃の悩みを共有する	10	オンライン (zoom)

事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。

認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。

【表21：レクチャー、シンポジウム等への出演】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
研究大会（栃木大会）「第1分科会 パネルディスカッション コロナ禍における公立文化施設の新たな役割」	栃木県総合文化センター	公益社団法人全国公立文化施設協会	2021年6月10日	小川智紀が登壇
東京芸術劇場アーツアカデミー研修生ゼミ	STスポット	公益財団法人 東京都歴史文化財団	2021年7月29日	田中真実、高荷春菜が登壇
すべてのこどもたちに豊かな文化環境を～SDGsの角度から子どもの文化権を考える	エル・パーク 仙台	こどもあーと ACTION	2021年8月2日	小川智紀が登壇
第2回事業高度化研修	オンライン	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	2021年9月28日	小川智紀が登壇
TALK「アーティストの自立と社会参加～”ふくし”から考える～」	オンライン	せんだいメディアテーク	2021年11月10日	田中真実が登壇
地域創造令和3年度調査研究事業「地域と文化芸術をつなげるコーディネーターの事例調査」座談会	地域創造	一般財団法人地域創造	2021年11月29日	小川智紀、田中真実が登壇
令和3年度ステージラボ豊橋セッション・ホール入門コース	穂の国とよはし芸術劇場プラット	一般財団法人地域創造	2022年2月15～18日	小川智紀が登壇

【表22：事業の実施に関する事項：特定非営利活動に係る事業】

	STスポットを中心とした芸術文化施設の運営管理	舞台芸術を中心としたアートプロジェクトの創造発信	舞台芸術を中心としたアウトリーチや教育普及、交流促進
内容	市民に開かれた劇場として、STスポットの運営管理を行う。	アーティストと協働し、舞台芸術を中心とした創作および発信を行う。	教育、地域、福祉等の分野との協働を通して、中間支援活動を行う。
日時	通年	通年	通年
場所	横浜市	横浜市・神奈川県	横浜市・神奈川県
従事者人員	4名	4名	7名
受益対象者	主に芸術文化関係者 3,193人	主に芸術文化関係者 411人	子ども、障害者を含む一般 47,739人
支出合計額	11,499,689円	1,368,153円	78,580,392円

活動計算書

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科目		金額 (単位:円)	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000	130,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	460,000	460,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	400,000		
受取補助金・負担金	71,920,000	72,320,000	
4. 事業収益			
事業収入	1,982,915		
利用協力費	3,952,075		
受託費	16,282,970	22,217,960	
5. その他収益			
雑収入	484		
その他の収入	97,200		
繰入金収入	1,067,180	1,164,864	
経常収益計			96,292,824
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	25,488,844		
通勤費	1,386,712		
臨時雇賃金	1,352,000		
福利厚生費	4,152,074		
人件費計	32,379,630		
(2) その他経費			
諸謝金	5,038,520		
委託費	21,691,239		
助成費	16,500,000		
制作費	667,394		
消耗品費	715,621		
印刷費	1,494,946		
広報宣伝費	4,645,818		
旅費交通費	471,599		
支払手数料	79,325		
地代家賃	1,597,692		
会場借上費	99,800		
通信費	2,755,937		
会議費	767,156		
設備費	866,046		
リース料	156,168		
租税公課	1,521,343		
その他経費計	59,068,604		
事業費計		91,448,234	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	176,726		
通勤費	7,820		
退職給与繰出金	1,200,000		
人件費計	1,384,546		
(2) その他経費			
諸謝金	561,500		
設備緊急対策金	200,000		
繰入金支出	1,067,180		
その他経費計	1,828,680		
管理費計		3,213,226	
経常費用計			94,661,460
当期経常増減額			1,631,364
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			1,631,364
前期繰越正味財産額			23,188,147
次期繰越正味財産額			24,819,511

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和4年3月31日現在

- 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
(1)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
(2)引当金の計上基準
・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
(3)準備金の計上基準
・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
- 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	6,105,934	19,382,910	25,488,844
通 勤 費	451,400	935,312	1,386,712
臨 時 雇 賃 金	496,000	856,000	1,352,000
法 定 福 利 費	1,064,794	3,087,280	4,152,074
人 件 費 計	8,118,128	24,261,502	32,379,630
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	1,437,000	3,601,520	5,038,520
委 託 費	242,860	21,448,379	21,691,239
助 成 費	0	16,500,000	16,500,000
制 作 費	499,988	167,406	667,394
消 耗 品 費	275,671	439,950	715,621
印 刷 費	30,640	1,464,306	1,494,946
広 報 宣 伝 費	24,630	4,621,188	4,645,818
旅 費 交 通 費	4,274	467,325	471,599
支 払 手 数 料	17,815	61,510	79,325
地 代 家 賃	0	1,597,692	1,597,692
会 場 借 上 費	1,500	98,300	99,800
通 信 費	431,619	2,324,318	2,755,937
会 議 費	224,213	542,943	767,156
設 備 費	860,286	5,760	866,046
リ ー ス 料	156,168	0	156,168
租 税 公 課	543,050	978,293	1,521,343
そ の 他 経 費 計	4,749,714	54,318,890	59,068,604
合 計	12,867,842	78,580,392	91,448,234

- 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

名 称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業負担金	横浜市	0	35,820,000	35,820,000	0
地域文化サポート事業プラットフォーム負担金	横浜市	0	30,000,000	30,000,000	0
合計		0	71,920,000	71,920,000	0

貸借対照表

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和4年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金	75,856		
預金	42,916,113		
現金・預金 計	42,991,969		
その他流動資産			
未収入金	146,500		
仮払金1	80,000		
仮払金2	1,092,591		
その他流動資産 計	1,319,091		
流動資産合計		44,311,060	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産 計	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			45,571,060
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	160,602		
仮受金	1,092,591		
未払費用	1,475,429		
流動負債合計		2,728,622	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	11,067,449		
設備緊急引当金	5,455,478		
固定負債合計		18,022,927	
負債合計			20,751,549
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,188,147	
当期正味財産増減額		1,631,364	
正味財産合計			24,819,511
負債及び正味財産合計			45,571,060

財産目録

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和4年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	75,856		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	22,650,068		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	2,243,118		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	11,067,449		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	6,955,478		
未収入金			
利用協力費(1件)	146,500		
仮払金			
つり銭	80,000		
収益事業会計への仮払支出額	1,092,591		
流動資産合計		44,311,060	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			45,571,060
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税等	160,602		
仮受金			
非収益事業会計からの仮受受入額	1,092,591		
未払費用			
未払消費税	613,500		
社会保険料等	861,929		
流動負債合計		2,728,622	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	11,067,449		
設備緊急引当金	5,455,478		
固定負債合計		18,022,927	
負債合計			20,751,549
正味財産			24,819,511